

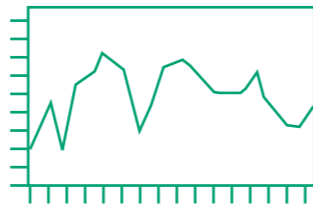
## エコ・チェックシートを使って エコライフをはじめよう

エコチェックシート

- ねらい………普段の生活を見直し、環境にやさしいエコライフの実践に役立てる。
- 用意するもの…エコ・チェックシート・電卓・筆記用具など

### 進め方

- 1 エコライフ度診断をする
- 2 エコライフ項目を選び、1ヶ月続けて実践する
- 3 エコライフ実践によって、CO<sub>2</sub>排出量や光熱水費がどれだけ削減できたか、環境家計簿をつけて確認する
- 4 実践項目を追加し、さらにCO<sub>2</sub>排出量や光熱水費を減らすことができたかを確認する。



### 指導上のポイント

- 無理な目標や計画は立てず、身近で簡単にできる項目から取り組むようにする。
- エコライフの実践は環境にやさしいだけでなく、家計の節約にもつながることを伝える。
- 計画をたてる → 実践する → 点検する → 計画を見直すを繰り返して、ステップアップできるようにする。

### ホームページ「環境いばらき」情報

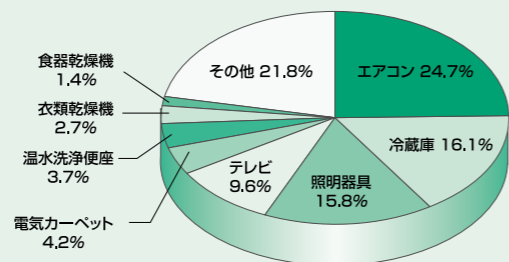
☆エコライフのページでは、くらしの環境やエコ・チェックシートについて説明しています。

## 資料 + データ

### 家庭用電気機器別の電力構成化

家庭用電気消費のうち、最も大きな比率を占めるのはエアコンで、以下冷蔵庫、照明器具テレビと4種類の機器で3分の2を占めています。したがって4種類の機器の省エネルギー化を図ることが重要です。しかし、最近省エネ型の電気製品が増えていても、ライフスタイルの変化による複数所有によりエネルギー消費が増えるなどの問題も出てきています。

家庭用電気機器別の電気構成比(2002年度推定値)



# ごみ・リサイクル

## 学習のねらい

日常生活からでるごみの現状を知ること、環境を守るためには、ライフスタイルを見直し、ごみの減量、分別、リサイクルなどの取り組みが大切であることを認識させる。

小学生  
対象

### ごみビンゴゲーム

ゲーム/1時間  
ワークシート No.18

- ねらい………ゲームを通して、ごみを減らすにはどうすればよいかを考え、実践につなげる。
- 用意するもの…ワークシート(9つのマスに番号をふったビンゴカード)・筆記用具など

### 進め方

- 1 各自にワークシートを配り、「どうしたらごみを減らせるか」のアイデアを9つ書き込む 20分
- 2 ビンゴゲームを行う 20分
  - ・一人ずつアイデアを発表させ、そのアイデアが自分のカードにあれば手をあげて○をつける
  - ・たて、よこ、ななめのいずれかに○が3つ並んだら、「ビンゴ!」と言う
  - ・全員が1回ずつ発表したら、いったんゲームを中断する
  - ・ゲームを再開し、今度は○が少ない人から順に発表する
- 3 発表されたアイデアの中から、自分たちが取り組めることを話し合う 20分

### 指導上のポイント

- 多数意見(○がついたもの)も大切だが、少数意見も大切にしよう配慮する。
- ごみ以外のテーマ(エネルギー、地球温暖化など)で行ってもよい。

## ～市民活動に参加しよう～

県内では、各地域で環境保全に関する市民活動をしている団体が多くあるので、参加してみよう。

地域活動団体については、「大好き いばらき 県民会議」のホームページで検索することができます。

トップページ (<http://business2.plala.or.jp/daisuki/welcome.html>)  
→ NPO情報 → 地域活動団体一覧検索システム

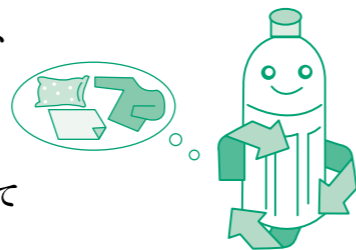
# ものの一生

ワークショップ / 2時間  
ワークシート No.19

- ねらい……………日常で使う物の製造・使用・廃棄の課程を理解し、それらの物が循環のサイクルをもっているかどうか、資源の無駄遣いになっていないかなどを学ぶ。
- 用意するもの…参考資料・パソコン・模造紙・ワークシート・筆記用具

## 進め方

- 1 グループに分かれ、日常生活で使用している物のうち1つを選び、その物の生涯を参考資料やインターネットで調べ、グループで話し合う  
(例) ペットボトル飲料、新聞・雑誌、洋服など  
原料、生産場所、輸送方法、使われ方、使用後の運命など 60分
- 2 物の生涯について話し合った結果を、模造紙に描く 20分
- 3 グループごとに発表する 20分
- 4 日常生活でのものの使われ方について改善すべき点などについて話し合う 20分



### 指導上のポイント

- 選んだ物が循環しているか、使い捨てか、リサイクルや再利用するためにはどうすればよいかなどを質問し、各グループに考えさせるとよい。
- 自然界の物質循環などについて説明して、人間が生活することは環境に負荷を与えていることを自覚させる。



## ～ゴミを減らす「3R作戦」開始！～

### 1.Reduce (リデュース): 資源消費を減らす

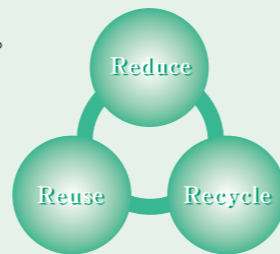
- 1) 買い物には買い物袋や買い物かごを持参。過剰包装を断り簡易包装を進める。
- 2) 食料品はムダにならないよう必要分だけ買う。大根の葉などもできるだけ調理して食べる。
- 3) 衣料品は材質的に長く着られるもの、愛着の持てるものを必要なだけ買う。
- 4) 家電製品などは長持ちし、部品の保存が長く、修理体制の整っているものを選ぶ。
- 5) 使い捨て商品はなるべく買わず、同じ用途ならリサイクル製品などを選ぶ。
- 6) 詰め替え製品など、廃棄する割合の少ないものを選ぶ。
- 7) 旅行かばんや乳幼児用品などは積極的にリースを活用する。
- 8) 不要なダイレクトメールは「受け取りません」と封筒に明記して投函する。

### 2.Reuse (リユース): 再使用する

- 1) 要らなくなった紙は、メモ用紙として使う。
- 2) リターナル瓶を使用した製品を選ぶ。
- 3) まだ使えるが、不要となったものは知人にゆずるか、バザー、フリーマーケットなどへ提供する。

### 3.Recycle (リサイクル): 再生利用する

- 1) 空き缶や空き瓶、牛乳パックなどは資源回収、販売店店頭回収に出す。
- 2) 古新聞や段ボールなどの古紙は、まとめて束ね、資源回収などに出す。
- 3) 古布は、資源回収などに出す。
- 4) 生ゴミは、処理機などを利用し、堆肥として利用する。
- 5) 集団回収活動に積極的に参加する。



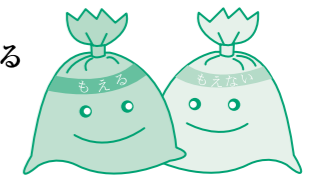
# 家庭のごみ調査

ワークシート No.20

- ねらい……………家庭からのごみの種類や成分について理解し、ごみを減らす工夫や暮らし方を学ぶ。
- 用意するもの…ワークシート・筆記用具

## 進め方

- 1 自分たちの地域で決められているごみ収集の区分を調べる
- 2 1.の区分に応じたごみの量を調べるための方法を全員で考えて決める
- 3 各自が1週間、家庭で発生するごみの量を決められた方法に従って調べ、ワークシートに記入する
- 4 調査が終わったら、結果を集計し、グラフにする
- 5 グラフを見ながら、全員で話し合う。  
・最も多いごみの種類は何か (燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみ など)  
・ごみの主な成分は何か (生ごみ、紙、プラスチック、ガラス、アルミ など)  
・最も少ない成分、最も多い成分は何か  
・出さなくても済みそうなごみは何か (生ごみは庭にうめる など)  
・ごみを減らすためにはどうしたらよいか



### 指導上のポイント

- 家族の人数から、1人あたりのごみの排出量を調べるとよい。
- 季節を変えて調べ、1回目と比べてどう変化したか、その理由などについて話し合ってみてもよい。

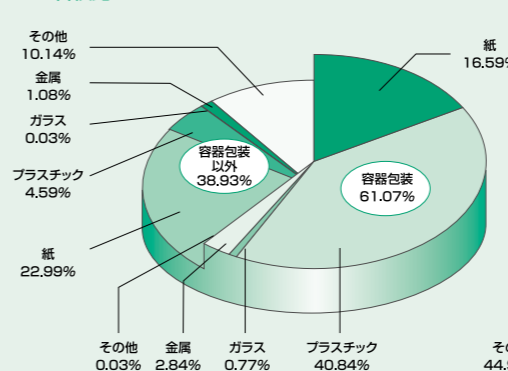


## 資料 + データ

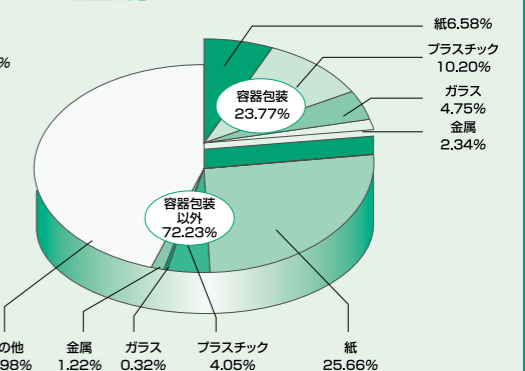
### 家庭ゴミ全体に占める容器包装廃棄物の割合

家庭ゴミ全体に占める容器包装廃棄物は、湿重量比では全体の24%ですが、容積比では、全体の61%を占めています。ごみを減らすに葉、家庭ゴミから容器包装を減らしていくことが重要と言えます。

<容積比>



<湿重量比>



資料:環境省「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査及び効果検証に関する事業報告書」(2002年度)



ホームページ「環境いばらき」情報

☆エコライフのページでは、ごみとリサイクルについて説明しています。

## 資料+データ

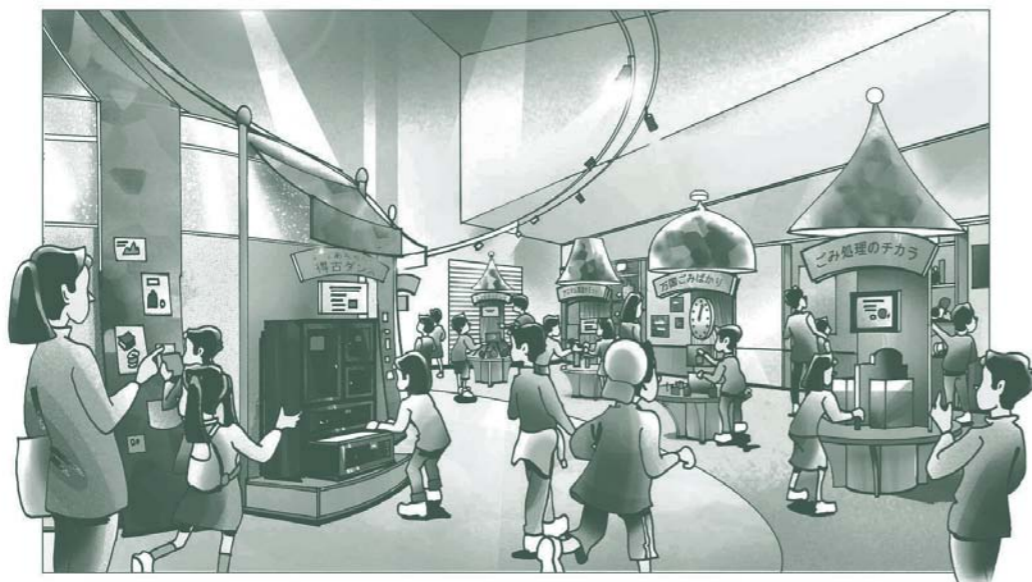
### ▼「エコフロンティアかさま」の環境学習施設を利用しよう▼

県では最終処分する廃棄物の減量化に取り組む「いばらきゼロ・エミッション」を推進しています。この廃棄物を適正処理するための処分場として「エコフロンティアかさま」が平成17年8月にオープン。また、併設として環境学習施設が平成18年5月にオープンします。

施設内には、展示室・情報コーナー・ワークショップ・工作体験室・多目的研修施設があり、ごみというテーマを切り口に、身近な環境について語り合い、循環型社会の実現に向けたきっかけづくりをする場としています。

施設全体のテーマ=ごみと生活、地球の関係を楽しく探れる  
「エコ・フェスタ(祭典)」

- 展示室:ごみと環境の関わりを多様な視点から紹介するコア展示とごみ問題・環境問題を暮らしと結びつけて紹介するキット展示など
- 情報コーナー:施設の維持管理情報や環境学習関連情報を発信する空間
- 工作体験教室:ボランティア団体、各種団体が活動発表のパネルを製作したり、リサイクル品を使った工作ができる。



## 学習のねらい

社会経済活動と環境保全のバランスを保つために、どのような取り組みがあるのかを知り、生産者と消費者がどのように行動すべきかを考える。

小学生  
対象

## 環境にやさしいマークを探そう

ワークショップ/1時間  
ワークシート No.21

- ねらい………環境ラベルやマークを知り、環境配慮製品を選ぶことが、環境を守ることにつながることを理解する。
- 用意するもの… ワークシート・筆記用具など



### 進め方

- 1 環境ラベルの意味を調べる  
(例) エコマーク、グリーンマーク、省エネ性マーク、再生紙使用マーク など 20分
- 2 自宅や店で、環境ラベルがついた商品を探し、ワークシートに記録する 20分
- 3 調べた結果を発表し、今後買い物するときにはどうすればよいかを話し合う 20分



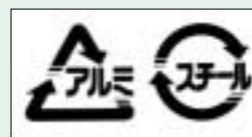
### 指導上のポイント

- 環境ラベルについては、環境省のホームページの環境ラベル等データベースを利用するとよい。(http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/)
- 低学年の場合は、クイズやゲーム感覚で環境ラベルを知ってもらう方法もよい。

## ～環境ラベルをチェックしよう。～

### 1.リサイクルマーク

アルミ缶・スチール缶マーク



「容器包装リサイクル法」施行以前の1991(平成3)年から表示が義務付けられています。清涼飲料水やビール」などの缶容器に表示。

プラスチック製容器・包装マーク



2001(平成13)年4月から、プラスチック製の容器・包装に義務付けられています。

紙製容器・包装マーク



2001(平成13)年4月から、紙製の容器・包装に義務付けられています。

### 2.再生品マーク

エコマーク



再生品や、製造時・廃棄時などの過程で環境を汚さない、環境保全に役立つと認められる製品についています。

グリーンマーク



古紙を再利用したトイレットペーパーやティッシュペーパー・ノートなど、多くの紙製品についています。グリーンマークを一定数集めると、苗木や古紙を再利用したノートがもらえます。(但し、対象は幼稚園・小学校・中学校・高等学校・町内会など)

牛乳パック再利用マーク



回収した牛乳パックを原料にした製品についています。

再生紙使用マーク



古紙を原料に使った製品についており、古紙の配合率が表示されています。(例: R100とは古紙配合率100%を意味します)

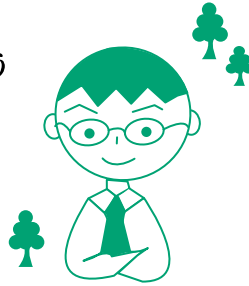
## グリーンコンシューマーになろう

ワークショップ／2時間  
ワークシート No.22

- ねらい……………グリーン購入について学び、買い物をする際には、今後どのような商品を選ぶべきかを考える。
- 用意するもの…参考文献・パソコン・模造紙・ワークシート・筆記用具

### 進め方

- 1 普段どのような基準で買い物をしているか話し合う  
(例) 値段、品質、デザイン、機能性、CMの影響 など 20分
- 2 グリーン購入について、本やインターネットで調べる  
基本原則とは何か、どんな商品があるか、など 60分
- 3 調べたことを発表する 20分
- 4 気づいたことや今後の商品の選び方などについて話し合う 20分



### 指導上のポイント

- なぜ、環境保全のためにはグリーン購入が必要なかを理解させ、できることから実践するよう伝える。
- グリーン購入ネットワークのホームページ (<http://www.gpn.jp/>) を参考にするとよい。



## 企業の環境対策を調べよう

ワークショップ／2時間  
ワークシート No.23

- ねらい……………企業の環境への取り組みを調べ、良い点・悪い点を評価しながら、消費者として今後どのように行動していくかを考える。
- 用意するもの…企業の環境報告書・パソコン・ワークシート・筆記用具

### 進め方

- 1 グループに分かれ、環境報告書やホームページで企業がどのような環境への取り組みをしているか調べる  
(例) 環境マネジメントシステムの導入、環境配慮製品の開発、販売、環境教育、環境学習支援、地域の清掃活動、情報公開 など 60分
- 2 調べた内容をワークシートにまとめ、企業の立場になって、どのような環境への取り組みをしているかを発表する 30分
- 3 調査した企業を評価し、改善点などを話し合う  
成果はあがっているか、社会に貢献しているか など 30分



### 指導上のポイント

- 調査する企業を自動車メーカーなど業種を統一すると比較しやすい。
- 企業訪問して、直接担当者に話を聞いたり、見学をして意見をまとめてもよい。
- 消費者としてどのように行動することが環境に配慮した企業を増やしていくかを考えさせる。



## 資料 + データ

### 環境マネジメントシステムの普及

既存の支援

(国・県・各種団体による支援)  
・エコアクションの策定  
・ISO、エコアクションの認証機関の紹介  
・ISOの認証取得研修等

事業所	業種	環境マネジメント領域		事業所の 主な取組 内容	登録機関	登録料	登録期間	登録料	登録期間
		未開拓領域	既存の環境 マネジメント領域						
事業所	大企業	茨城エコ事業所 登録制度	ISO14001	・必須の省エネ 取組項目等の 実施 ・結果報告	登録機関	設けない	3年	約100～300万円	約30万円
	中小企業		エコアクション						
県民	家庭	エコチェックシートの 普及		・環境目標の設定 (CO2・廃棄物・ 水の削減) ・環境活動レポート の作成	登録機関	設けない	3年	約100～300万円	約30万円
	(子供)	子ども向け 環境マネジメント プログラムの開発・普及							

## ～茨城エコ事業所登録制度について～

県では、環境にやさしい取り組みの裾野を広げる→地球温暖化防止(事業所・家庭から地域へ)を狙いとして、茨城エコ事業所登録を開始します。

### 制度の特徴

- ・より簡易な環境マネジメントシステム
- ・事業所のほか、職員の家庭で取り組むと格付けがアップ。

### 事業所のメリット

- ・環境にやさしい事業所であることをPRできる(企業の社会的認知度の向上)
- ・経費削減(光熱水費やガソリン代など)

### 期待される効果

- ・事業所登録を行い企業評価を高めるため、身近な地球温暖化防止の取り組みを進める事業所が増加。
- ・より高い格付けと優遇特典を得るため、各家庭での取り組みが一層促進。

### -内容-

- 対象:県内で事業活動を行っている事業所(法人、個人を問わない)
- 仕組:事業所が省エネルギー・省資源など所定の取り組み項目の実行を登録申請し、県はその成果を「茨城エコ事業所」として登録・PRする。  
(申請内容に適合しなくなった場合は登録を取り消す)
- 登録期間:設けない
- 登録料:なし
- 格付け:取組状況に応じて事業所を格付けして、一層の取組意識の向上を促す。
- 審査:登録申請・取組報告書は県が受け付ける。

## 学習のねらい

住んでいる町や身近な場所を、環境という視点で捉えることで、ふだん見過ごしている新しい「気づき」を発見させる。よりよい環境とはどのようなものか、それを創造していくためにはどうすればよいかなど、具体的な行動に結びつけるきっかけづくりをする。

小学生  
対象

### タウンウォッチング

フィールドワーク／3時間  
ワークシート No.24

- ねらい……自分たちが選んだテーマを意識してまちを歩くことで、今まで気づかなかったものを見つける。
- 用意するもの…地図・ワークシート・バインダー(シートを書くための台)・筆記用具など

#### 進め方

- 1 地図とワークシートを渡し、グループに分かれてテーマ、調べる内容、方法、役割分担等を話し合う (30分)  
(テーマ例) 人が集まる場所、古いもの、自動販売機、看板、ゴミ箱、など
- 2 出かける方面を決め、グループでまとまって出かける (90分)
- 3 戻ってきたら、調べたことについてまとめる (30分)
- 4 グループごとに調べた内容を発表する (30分)

#### 指導上のポイント



- 子どもたちだけで出かける場合は、保護者や先生と一緒に行動するなど、安全には十分注意すること。
- 大人の目線では気づかない子どもの感性や感覚を大事にして、多くの発見をさせる。

## ～「まちの定点観測」をしてみよう～

「まち」は、知らないうちに少しずつその姿を変えていきます。ふだんはあまり気になりませんが、例えば十年前の写真を見ると、「まち」の姿が大きく変わっていることに驚くこともあると思います。そこで、毎年、同じ地点・同じアングルで自分の住む「まち」を写真に撮り、「まちの定点観測」に取り組んでみてはいかがでしょうか。

清掃活動など、地域における行事と組み合わせれば、環境的な視点で取り組むこともできます。さらに、季節ごとに写真を撮れば、貴重な「まちの財産」にもなります。



中学生  
以上  
対象

### まちの好きなおとこ・きれいなおとこ

ワークショップ／2時間  
ワークシート No.25

- ねらい……住民のためのまちづくりを考えるためには、住民が楽しいと思うものは何かを知り、それを守り育てていくためにはどうすればよいかを考える。また、住民がきれいなものは何か、それを改善していくためには何ができるかを考える。
- 用意するもの…ワークシート・地図・筆記用具など

#### 進め方

- 1 自分の住んでいるまちについて考えてもらい、好きなもの10コ、きれいなものの10コをあげてもらい、ワークシートに記入する (20分)
- 2 用紙を集め、集計リストをつくる。みんなが共通して好きなものを10コ、問題とするものを10コ選び出す (20分)
- 3 問題点について一つずつ検討する。原因は何か、どんな解決策があるのか、それにはどれくらいコストがかかるのか、解決策の意思決定権はだれにあるのか、などを話し合う (40分)
- 4 好きなものについても一つずつ検討する。それがなくなってしまう危険性はないか、それを増やしたり、もっと多くの人たちにその良さを知ってもらうためには何ができるか、などを話し合う (40分)



#### 指導上のポイント

- 自由に意見を出してもらい、批判しないようにする。
- 地域のお年寄りやまちの歴史に詳しい人をアドバイザーとして意見を聞いてもよい。

